



豊岡の近代化遺産

『復興建築群』パネル展



開催中

8月のスポッティは、復興建築群のパネル展を開催しています。概ね幕末から第二次世界大戦終了後までの間に西欧の技術などを導入して建設された、近代化の歩みを現代に伝える貴重な建造物等を『近代化遺産』といいます。

1925年（大正14年）5月23日に発生した北但大震災により、豊岡の市街地は、その大半が焼失するなど、大きな被害を受けました。

町の復興にあたって当時の豊岡町は、先進都市に習って、新たな市街地は最新の文化様式を採用入れて建設するよう望みました。それに加えて兵庫県は、火災の延焼をくい止める防火に重点を置き、「防火建築補助規定」を定めて、一坪あたり50円という補助金を出すこととしました。この額は、一般的な木造建築物が建てられる金額で、これにより、多くの罹災者が補助金を利用して耐火鉄筋構造の店舗を建築し、旧豊岡町役場や銀行の建物と並んで現在の街並みを形成しました。

豊岡市内には大開通り（駅通り）や生田通り、宵田通りなどに多くの復興建築物があります。それぞれの建物の規模は比較的小さいですが、一定の期間に建てられた建築物が多く残っている地域は全国的にも限られており、とても珍しい地域の一つだと言えます。

豊岡の復興建築の魅力はそれだけではありません。現存する建物をよくみて見ると、壁面にさまざまなレリーフがあったり、王冠のような造形があったり、窓枠のデザインが凝っていたりと、とても豊かな表情を持っていることに驚かされます。材料であるモルタルの造形上の可能性を最大限に活かして、当時の左官工達が腕を競い合ったのではないかと想像できます。

豊岡の復興建築群の価値を、地域の皆様に再認識して頂きたいと考え、組合事務所横スポッティでパネル展を開催しています。どうぞご覧下さい。

- ▼場 所…商店街組合事務所サンス ト館隣り「スポッティ」
（豊岡市千代田町2番17号）
☎0796(23)2367
- ▼時 間…9:00～17:00
- ▼入場料…無料

スポーツ写真コンテスト 作品募集(予告)

スポッティでは、10月の1ヶ月間、「スポーツ写真コンテスト」を開催します。様々なスポーツに一生懸命に取り組む姿やスポーツを楽しむ光景など、スポーツに関することなら題材は自由です。9月初旬に応募要項を発表いたします。